

平成22年度

かほく市教育委員会  
点検及び評価報告書

平成23年12月

かほく市教育委員会

## はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成22年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会が毎年示す「かほく市の教育」の重点目標を達成するための具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいで作成したものです。

かほく市教育委員会は、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

平成23年12月

かほく市教育委員会

## かほく市の教育（平成22年度）

### 教育方針

海とみどりに抱かれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちを愛し、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、かつ連携を深め、創造力と生きがいを育む教育を推進する。

### 学校教育目標

将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。

#### 重点事項

- ・ 基礎基本の定着と活用力の向上
- ・ 道徳教育と人権教育の推進
- ・ 健康、体力向上を育む教育の充実
- ・ 開かれた学校と特色ある学校経営の推進
- ・ 教職員の研修の充実と資質の向上
- ・ 就学環境の向上による学校教育の推進

### 生涯教育目標

「かほく市生涯学習推進計画」に基づき、社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指す。

#### 重点事項

- ・ 家庭教育力の向上を図るための活動の推進
- ・ 地域教育力の向上に向けたコミュニティ活動の活性化
- ・ 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進
- ・ 国際社会に対応するための国際理解教育の推進
- ・ 生きがいづくりに向けた文化活動の推進
- ・ 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

### スポーツ振興目標

「かほく市スポーツ振興計画」に基づき、市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指す。

#### 重点事項

- ・ 生涯スポーツ活動の推進
- ・ 児童生徒の体力・運動能力の向上
- ・ 競技スポーツの充実・強化
- ・ スポーツ施設の整備・充実

# 目 次

1	教育委員会の活動状況	1
	(1) 教育委員会会議の開催状況	1
	(2) 教育委員会会議の審議状況	1
	(3) 教育委員の主な活動状況	3
2	点検及び評価	4
	<b>施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成 を目指して【学校教育課・教育センター】</b>	
	1 基礎基本の定着と活用力の向上	5
	2 道徳教育と人権教育の推進	7
	3 健康、体力向上を育む教育の充実	8
	4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進	9
	5 教職員の研修の充実と資質の向上	10
	6 就学環境の向上による学校教育の推進	11
	<b>施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう 生涯学習社会を目指して【生涯学習課】</b>	
	1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進	13
	2 地域教育力の向上に向けたコミュニティ活動の活性化	14
	3 豊かな心を育むための青少年教育の推進	16
	4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進	17
	5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進	18
	6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進	19
	7 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進	20
	8 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進	21
	<b>施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな 生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して【生涯学習課】</b>	
	1 生涯スポーツ活動の推進	24
	2 児童生徒の体力・運動能力の向上	25
	3 競技スポーツの充実・強化	26
	4 スポーツ施設の整備・充実	28
	資料	30

# 1 教育委員会の活動状況

## (1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催し、平成22年度は12回開催しました。

教育委員会定例会・・・12回

## (2) 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「かほく市教育委員会事務委任規則」の規定に基づき、平成22年度は30件について審議しました。

### 平成22年度教育委員会会議開催状況

回(開催日)	審議決定事項
平成22年第4回 (平成22年4月28日)	議案第26号 かほく市教育委員会委員長の選挙について 議案第27号 かほく市教育委員会委員長職務代理者の指定について 報告事項 ・ 平成21年度第6回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について ・ 市民1000日健康・体力づくり運動について
平成22年第5回 (平成22年5月21日)	議案第28号 平成22年度準要保護児童生徒の認定について 議案第29号 平成23年度から使用予定の小学校教科用図書の展示について 報告事項 ・ 各種委員の確定について ・ 平成22年度第1回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について
平成22年第6回 (平成22年6月30日)	議案第30号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・ 各種委員の確定について ・ 平成22年度6月補正予算について ・ 新規ALT・CIRについて ・ 平成22年度第2回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について ・ 平成22年度姉妹都市交流事業(青少年派遣)について ・ 平成22年度加賀地区中学校体育大会兼県体予選会の結果について
平成22年第7回 (平成22年7月23日)	議案第31号 平成23年度使用小学校教科用図書の採択について 報告事項 ・ 平成22年度石川県中学校総合体育大会の結果について ・ 平成22年度県基礎学力調査の結果について
平成22年第8回 (平成22年8月23日)	議案第32号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について 報告事項 ・ 平成22年度中学校北信越大会等成績一覧について ・ 第62回石川県民体育大会(夏季大会)の結果について ・ 平成22年度第3回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について

回（開催日）	審議決定事項
平成22年第9回 (平成22年9月27日)	<p>議案第33号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第34号 平成22年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について</p> <p>議案第35号 かほく市立学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第36号 かほく市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>報告事項 ・ 平成22年度9月補正予算について ・ 学力調査結果について（最終結果）</p>
平成22年第10回 (平成22年10月28日)	<p>議案第37号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第38号 平成21年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について</p> <p>議案第39号 かほく市統合図書館整備事業について</p> <p>報告事項 ・ 平成22年度河北郡市中学校新人体育大会結果について ・ 平成22年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について（追加） ・ 平成22年度第4回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について</p>
平成22年第11回 (平成22年11月30日)	<p>議案第40号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>議案第41号 かほく市体育施設整備計画（案）について</p> <p>報告事項 ・ （仮称）かほく市立中央図書館整備事業における現状報告について</p>
平成22年第12回 (平成22年12月24日)	<p>議案第42号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項 ・ 平成22年度かほく市就学指導委員会の結果について ・ 平成22年度12月補正予算について ・ （仮称）かほく市立中央図書館整備について</p>
平成23年第1回 (平成23年1月26日)	<p>報告事項 ・ 平成22年度第5回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について</p>
平成23年第2回 (平成23年2月28日)	<p>議案第1号 平成22年度準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項 ・ （仮称）かほく市立中央図書館整備工事基本設計について</p>
平成23年第3回 (平成23年3月28日)	<p>議案第2号 かほく市教育方針について</p> <p>議案第3号 かほく市地域教育力活性化実行委員会設置要綱を廃止する告示</p> <p>議案第4号 高松地域教育力活性化本部設置要綱を廃止する告示</p> <p>議案第5号 七塚地域教育力活性化本部設置要綱を廃止する告示</p> <p>議案第6号 宇ノ気地域教育力活性化本部設置要綱を廃止する告示</p> <p>議案第7号 かほく市指定文化財の指定解除について</p> <p>議案第8号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について</p> <p>議案第9号 かほく市就学指導委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第10号 かほく市奨学生選考委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第11号 かほく市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第12号 かほく市少年愛護センター少年愛護員の委嘱について</p> <p>議案第13号 かほく市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p>

	<b>報告事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度3月補正予算について</li> <li>・ 平成23年度主要事業計画(案)について</li> <li>・ 平成23年度かほく市教育部予算について</li> <li>・ 平成23年度かほく市教育委員会嘱託職員の新規採用について</li> <li>・ 平成22年度第6回かほく市社会教育委員会議 会議結果報告について</li> </ul>
--	--

(3) 教育委員の主な活動状況

教育委員が出席した活動等

年月日	活動内容
平成22年 4月 5日	平成22年度初任、新任教職員辞令交付式
平成22年 4月 6日	平成22年度かほく市立小中学校入学式
平成22年 5月 6日	平成22年度河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成22年 5月 7日	平成22年度石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成22年 6月 6日	第7回かほく市総合体育大会開会式
平成22年 6月10日	かほく市教育委員会前期学校訪問(金津小学校・宇ノ気小学校・高松中学校)
平成22年 7月 5日	かほく市教育委員会前期学校訪問(七塚小学校・大海小学校・高松小学校)
平成22年 7月13日	かほく市教育委員会前期学校訪問(宇ノ気中学校・河北台中学校・外日角小学校)
平成22年 7月16日	第62回石川県民体育大会出場選手壮行会
平成22年 7月23日	石川縣市町教育委員会セミナー
平成22年 8月 7日	第62回石川県民体育大会夏季大会(～8月8日)
平成22年 8月29日	サンドヒルかほく市2010グラウンド・ゴルフ大会
平成22年 9月 4日	かほく市立中学校運動会
平成22年 9月11日	かほく市立小学校運動会(高松小学校、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校、金津小学校)
平成22年 9月25日	かほく市立小学校運動会(大海小学校)
平成22年10月19日	平成22年度河北郡市教育委員会連合会研修会
平成22年10月22日	平成22年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会
平成22年10月30日	平成22年度かほく市教育委員会表彰式
平成23年 1月 9日	第7回かほく市成人式
平成23年 2月 1日	第7回かほく市立志式
平成23年 2月10日	かほく市教育委員会後期学校訪問(外日角小学校、金津小学校、七塚小学校)
平成23年 2月15日	かほく市教育委員会後期学校訪問(大海小学校、高松中学校、河北台中学校)
平成23年 2月22日	かほく市教育委員会後期学校訪問(宇ノ気中学校、宇ノ気小学校、高松小学校)
平成23年 3月 6日	第7回かほく市制施行記念継走大会
平成23年 3月11日	平成22年度かほく市立中学校卒業式
平成23年 3月18日	平成22年度かほく市立小学校卒業式

## 2 点検及び評価

### (1) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、「かほく市の教育方針」に基づき平成22年度に実施した具体的な施策とします。

### (2) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示しています。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、石川県立看護大学人間科学領域教授の武山雅志氏、かほく市教育長を経験された吉寄奨氏、かほく市教育委員を経験された宮前昭夫氏から様々な意見や助言を得ました。

### (3) 主な意見等

- ・ 全般的に限りある予算の中、多岐にわたる充実した取組がなされており、特に公共施設の安心・安全のための整備維持管理を進めていることは評価できるものである。
- ・ 児童生徒の学力向上を目指した学校教育研究事業の成果は短期間では計り知ることとはできないことから、持続性を保ち、長期的な展望を持った取組を実践することが特色ある学校づくりになってくるのではないかと。
- ・ 小学校へ配置している学校図書館司書を週1回中学校へ派遣しているが、子どもの読書活動推進のために、より一層の拡充を期待したい。
- ・ 国民の祝日に国旗を掲揚している家庭が少なくなっている印象を受ける。例えば、市民憲章推進本部事業で、国旗掲揚を推進する運動の取組について検討願いたい。
- ・ 男女共同参画推進事業への取組が進んでいないことは残念である。男女共同参画社会の実現に向けて、更なる努力を期待する。
- ・ 西田幾多郎記念哲学館管理運営事業において、郷土の偉人を多くの方を対象として豊かな学びがなされていることに感心した。なお、小中学校の共通道徳としても西田博士を取り上げており、その効果は高いといえるが、他の郷土の誇る偉人を取り上げた学習も必要ではないかと。
- ・ 市内児童の約34%がスポーツ少年団に加入していることは、子どもの体力低下が懸念されている中、充実した数値であり、更に拡充することを期待する。

これらの意見なども踏まえて、今後の教育行政において創意工夫を図り、かほく市の教育を推進していきます。

# 施策 1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指して

【学校教育課・教育センター】

## 1 基礎基本の定着と活用力の向上

主な 取組	<p>(1) 市学校教育研究事業（600 千円）</p> <p>校内研究を深め、学校教育の振興及び児童生徒の学力の向上を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>宇ノ気中学校（平成 21～22 年度：県・市指定） 研究主題 「意欲を持って学習に取り組む生徒の育成」 副 題 - 「活用力」向上のための指導法の工夫 - 発表期日 平成 22 年 11 月 12 日（金）</li><li>七塚小学校（平成 22～23 年度：市指定） 研究主題 「自ら学ぶ子どもをめざして」</li></ul> <p>(2) 活用力向上パイロット事業（149 千円）</p> <p>県の指定を受け、「活用力」を高める指導法を開発し、公開授業により啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>河北台中学校 研究主題 「確かな学力が身につく学習指導の工夫」 副 題 - 書く活動を取り入れた指導の工夫 - 授業公開日（前期）平成 22 年 6 月 25 日（金）・（後期）平成 22 年 11 月 1 日（月）</li></ul> <p>(3) いしかわ学校版環境 ISO 推進事業（250 千円）</p> <p>平成 22 年度に県の指定を受け、具体的な環境行動計画を作成し、学校ぐるみで実践を行うことにより児童の環境教育を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>金津小学校</li></ul> <p>(4) 学力調査の実施（2,111 千円）</p> <p>国・県の学力調査に加え市独自の調査として、小学校 5 年生（国語、算数、意識調査）、中学校 1 年生（国語、数学、理科、意識調査）、中学校 2 年生（国語、数学、英語、意識調査）について実施することにより児童生徒の学力を把握し、的確な指導を推進した。</p> <p>全国学力調査抽出校以外の小学校 6 年生（国語、算数、意識調査）及び中学校 3 年生（国語、数学、意識調査）について、国から問題等の提供を受けて実施し、採点及び抽出校と合せた分析を行った。</p> <p>(5) 特別支援教育体制の推進（12,007 千円）</p> <p>特別な配慮が必要な児童生徒への配慮の必要性に応じて支援員を 8 人（高松小学校 1 人、七塚小学校 1 人、外日角小学校 1 人、宇ノ気小学校 4 人、宇ノ気中学校 1 人）配置し、教育活動に必要な支援を行った。</p> <p>緊急雇用創出事業により通常学級における配慮が必要な児童に応じて学級補助員 12 人（高松小学校 2 人、大海小学校 1 人、七塚小学校 1 人、外日角小学校 2 人、宇ノ気小学校 5 人、金津小学校 1 人）を配置し、学級活動に必要な支援を行った。</p> <p>生徒の悩み事の相談を受けるために心の教室相談員 3 人を週 3 回各中学校に配置し、相談者に適切な助言を行った（相談件数 1,015 件）。</p> <p>児童生徒の臨床心理に関する専門家であるスクールカウンセラー 5 人を七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校、高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校へ派遣（うち 1 人は外日角小学校と河北台中学校の 2 校を兼務）し、相談者や関係者に対し問題解決への指導・助言を行った（相談件数 1,824 件）。</p>
----------	---

主な取組	<p>(6) 小学校英語活動及び中学校英語教育の充実(14,690千円)</p> <p>市内小中学校の英語活動及び英語授業を推進するため、外国青年招致事業によるALT(外国語指導助手)3人を配置した。</p> <p>中学校区外部講師研修会に英語活動コーディネーターの三浦邦子氏を講師として招いた。また、中学校教諭とALTによる小学校6年生への出前授業に石川県教育センター今井京氏を講師として招いた。</p> <p>中学校生徒の英語力の向上を目指すとともに、目標に向けての学習意欲の向上を推進するため、英検検定料を年1回に限り補助する中学校英語力向上事業を実施した。</p>
------	--

評価	<p>各事業の実施による基礎・基本の学力向上に加えて、活用力の向上の取組や環境教育についても推進することができた。これらの成果については、他校にも積極的に公開することにより共通理解を深めていく必要がある。さらに、学力調査などの結果をしっかり受け止め、現状の学力実態の把握・分析を進め、「生きる力」の更なる向上を目指して、きめ細やかな教育の実施に努めていく。</p> <p>全国学力・学習状況調査が平成22年度から悉皆調査から抽出調査に変更となったことを受け、抽出校以外の学校についても同様の調査を行うことによって全国及び石川県との比較を行うとともに、個々の分野での正答率等の分析を行うことによってきめ細やかな指導にフィードバックできた。今後も悉皆調査に近い形で実施していく必要がある。</p> <p>特別支援教育支援員及び学級補助員の配置は、児童生徒の安定した学校生活に必要不可欠であり、今後も各学校の実態に即した配置を行う必要がある。特に、対象となる生徒の入学に伴い、宇ノ気中学校へ特別支援教育支援員を1人配置したように、きめ細やかな対応が大切である。また、市就学指導委員会において、当該児童生徒の現状を見極め、必要な助言等をいただくことによって個に応じた指導・支援が図られている。</p> <p>外国語指導助手の活動は、中学校の英語指導助手として、また、小学校の英語活動を推進するために一層の充実を図っていく必要がある。さらに、外部講師を招いての研修会の実施による小学校の英語活動の指導法の習得を図っており、今後も継続して実施する必要がある。なお、平成21年度から実施した中学校英語力向上事業は、生徒の学習意欲の向上に寄与しており、継続して実施を行う必要がある。</p>
----	---

## 2 道徳教育と人権教育の推進

主な取組	<p>(1) 共通道徳への取組</p> <p>小学校5年生、中学校2年生が郷土の偉人である西田幾多郎博士を取り上げ、石川県西田幾多郎記念哲学館を活用し、共通道徳授業を行った。</p> <p>平成21年度に共通道徳推進委員会が作成した実践事例集及び指導資料集を道徳の授業に活用するとともに、市内各小学校の5年生は「西田幾多郎伝記本」も道徳教育に活用した。</p> <p>(2) 読書活動の推進(24,263千円)</p> <p>全小学校に学校図書館司書5人(うち1人は大海小学校と金津小学校を兼務)を配置し、年11回の図書館司書研修会で共通理解を図り、子どもたちの読書生活を豊かにするとともに、課題解決学習などへの有効活用を促進した。また、図書館司書を週1回中学校へ派遣し、生徒の読書活動の支援を行った(11,092千円)。</p> <p>子どもの読書活動を推進するため、必要な図書や図書備品を購入した(4,173千円)。特に平成22年度においては、国の交付金を活用し、児童生徒が活字にふれる機会として一番身近である学校図書館の魅力的な読書環境づくりを目的として図書や図書備品を購入した(8,998千円)。</p> <p>(3) 芸術鑑賞推進事業(1,047千円)</p> <p>優れた舞台芸術を鑑賞することによる豊かな情操の涵養を図るため、オーケストラアンサンブル金沢の演奏会を宇ノ気中学校で、劇団野ばらによる「あした あさって しあさって」のスクールシアター鑑賞を高松小学校及び大海小学校(低学年を対象)で、古典芸能鑑賞教室を宇ノ気小学校及び金津小学校(高学年を対象)でそれぞれ実施した。</p> <p>(4) 人権教育推進事業(370千円)</p> <p>豊かな心を育み、人権意識を高めることを目的として、西野努氏を講師に招き、講演会「サッカーがくれた数々の贈り物」を、また、横田幸子氏を講師に招き、講演会「ことば・コミュニケーションの大切さ」を宇ノ気中学校で、劇団民話芸術座の演劇「河童の笛」を大海小学校で実施した。</p>
評価	<p>道徳において、本市出身の哲学者である西田幾多郎博士を取り上げ、氏の生き方に学び、共感することにより児童生徒の道徳心を涵養することは、心の教育の一環として有効であり、今後も全ての小中学校の児童生徒を対象に共通道徳として継続して実施する。また、共通道徳の実践によって将来の夢や希望を持つ児童生徒の割合が増加傾向にあることから、今後も実践的な道徳教育の実施を行っていく必要がある。</p> <p>子どもの読書活動を推進するためには、図書館司書の役割が重要であり、資料の収集や整理を行い、レファレンス活動を推進するとともに、市立図書館との連携、司書研修などの充実に努めた。小学校の図書の貸出冊数も増加しており、子どもの意欲的な読書活動推進に寄与した。なお、司書を定期的に中学校へ派遣することによって中学校の読書環境の向上も図ることができた。また、住民生活に光をそそぐ交付金によって全小中学校で整備した学校図書館備品(図書・図書館備品)を有効活用するなど、今後の読書活動の推進の担い手としての図書館司書の活躍が期待される。</p> <p>生きた本物の芸術鑑賞を行い、また、人権教育を推進することは、次代を担う子供たちの豊かな心を育み、思いやりの心を涵養することから、対象校を選定しつつ継続して実施することが重要である。</p>

### 3 健康、体力向上を育む教育の充実

主な取組	<p>(1) 体力向上推進 児童のスポーツに対する関心を高めることを目的として県が推進するスポチャレいしかわに市内全小学校のうち約97%の学級が各種目に挑戦した。 体力アップ1校1プランにおいて、各小中学校が設定した目標に対する成果・課題を検証し、児童生徒の体力アップに取り組んだ。</p> <p>(2) 大会出場派遣事業(9,009千円) 県大会、北陸信越大会、全国大会などに出場する中学校の部活動に対して交通費等を補助し、部活動の振興を図った。</p> <p>(3) 食育教育の推進(800千円) 平成22年度に国から委託を受けた「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を家庭や地域と連携して実施し、食育について校内研究や体験学習等により推進した。 ・ 高松小学校(実践中心校) 研究主題 「食の大切さを学び、心身ともに健康な高松っ子の育成」 副題 - 地域の農産物や人のかかわり、体験活動を通じた食育の実践 - 発表期日 平成22年11月26日(金) 児童生徒の食に関する知識と食を選択する力を育成するために、給食便りの発行や栄養教諭などによる食育教育の推進に加えて、児童生徒が稲作、かぼっくり、紋平柿などの農業体験を行うとともに、生産者との交流会なども実施した。 高松小学校を実践中心校とする栄養教諭を中核とした食育推進事業の成果を研究発表会や研究紀要等により市内の学校はもとより県内の学校へも発信した。</p> <p>(4) 学校給食事業(260,814千円) 成長期にある児童生徒にバランスのとれた安全・安心な食事を提供(3,650食/日)した。 保護者を対象とした試食会の開催や地産地消への取組として地元産材の活用を行った。米飯給食は、かほく市瀬戸町及び鉢伏産のコシヒカリ1等米を提供した。さらに、パン給食に米粉パンを月1回提供した。</p> <p>(5) 教育相談事業(2,676千円) 不登校やいじめなどの電話相談、臨床心理士による教育相談を行った(162千円)。 (来所37件、出張42件、電話62件 計141件) 教育支援センター「すまいる」は、児童生徒(15人)の心のケアをしつつ学級への復帰を支援した。 国からの交付金を活用し、教育支援活動に必要なデジタルテレビ、パソコン及び通室に必要な公用車を購入し、センター機能の充実を図った(2,514千円)。</p> <p>(6) 問題を抱える子ども等の自立支援事業(303千円) 臨床心理士の木場清子氏と社会福祉士の松村和雄氏による保護者、教職員への指導助言を行った。 学生ボランティアなど6人が相談室等を通じて不登校児童生徒の学級復帰を支援した。</p>
------	---

評価	<p>全国体力・運動能力調査の結果の分析を進め、より効果的な体育授業や部活動指導を推進する必要がある。また、部活動の大会派遣補助事業の実施により保護者負担を軽減し、部活動の活性化を推進することができ、学校体育の振興を図ることができた。</p> <p>かほく市食育推進計画に基づき、他部局とも連携し、学校現場で様々な食育推進に資する事業を行ったが、今後も児童生徒の「生きる力」を育む観点を持ち、食育の推進を行っていく必要がある。</p> <p>学校給食においては、食の安全に細心の注意を払いつつ地産地消の取組も推進することができた。今後も学校給食を通じて児童生徒の食に関する適切な判断力を涵養し、健康で豊かな人間を育む基礎となる取組を推進する必要がある。また、アレルギーのある児童生徒に対し十分な配慮を行うため、家庭と更なる連携をとっていく必要性がある。</p> <p>教育支援センターの事業については、通室生の生活や学習課題に対応する学習プログラムの構築などの課題もあるが、指導員、学校、家庭との密接な連携を行うことが重要である。また、通室生が増加傾向にあることから、課題解決に向けて更に適切な支援体制の充実が求められている。</p>
----	---

#### 4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進

主な取組	<p>(1) 学校評価の実施 各学校の目標達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価することにより学校として組織的・継続的に改善を行った。 学校と保護者・地域が連携し、学校経営の更なる改善に向けての機運の醸成を図るため、学校評価の結果等を学校便りやホームページで公開した。</p> <p>(2) 学校支援委員会の設置 地域の有識者による学校支援委員会を全ての学校に設置し、学校運営に関して助言等を行うことによって学校を支援した。</p>
------	--

評価	<p>学校経営について、学校関係者による評価を受け、必要な改善を行うことは、より開かれた学校を推進する上で必要不可欠となる。また、学校支援委員会による様々な助言を学校運営に生かすことにより地域と学校の密接な連携を促進し、地域に根ざした学校の運営を促進することとなるので、引き続き強化し実施していくとともに、市教育委員会教育方針に基づく学校教育目標の達成を図るため、学校の短期経営目標の具体化を図り、評価時にその成果を検証していくこととする。</p>
----	--

## 5 教職員の研修の充実と資質の向上

主 な 取 組	<p>(1) かほく市指定研究（ 1 基礎基本の定着と活用力の向上(1)市学校教育研究事業に含む） 学校教育研究会を指定（宇ノ気中学校、七塚小学校）し、学力向上につながる児童生徒への効果的な指導方法について研究を行い、教職員の共通理解を深めた。</p> <p>(2) 校内研修の充実 県教育委員会との連携により実施し、教職員の資質向上を図った。</p> <p>(3) 指導主事学校訪問 学校の指導方針に基づく実際の授業の進め方などについて、指導主事が学校に対し、直接、指導・助言を行った。</p> <p>(4) 市学校教育研究会（830 千円） 教職員が教育課程研究部会などの 8 部会を組織し、学校教育のあり方などについて研究し、県外視察及び教職員研修会の実施により本市の学校教育の向上を推進した。 平成 2 2 年度から市校長研修会を統合し、教職員全体の資質を向上するための組織として運営を行った。</p> <p>(5) 市教育センターによる研修会（169 千円） 教職員の質を高めることを目的とする教育講演会に関西学院大学教授の横山利弘氏を招聘した。 その他、新任教職員研修（1 回）、学力向上研修（5 回）、小学校英語活動研修（1 回）などを実施した。</p>
------------------	--

評 価	<p>指定研究の実施で得られた成果を発表会などにおいて公開することにより他校の教職員との共通理解を深め、指導方法の向上に資することができた。また、習得した効果的な指導法を授業に生かすため、次年度もより充実した取組を継続して実施していく必要がある。</p> <p>市学校教育研究会の各部会において、小中連携事業の推進や生徒指導の課題解決に向けた研究を行ったり、学校事務改善のための書式集見直しや健康教育の推進のための研修を行ったりするなど、それぞれの課題解決に向けた協議を深めることができた。今後も時代に合ったテーマを設定し、教員の横の連携も踏まえた学校教育の推進を行うための組織として、充実を図っていきたい。</p> <p>指導主事訪問、学校教育研究会、教育センターによる研修会を通じて様々な課題に対する指導法を習得するなど教職員の資質の向上を図ることができた。また、学校教育研究会との連携を更に深め、先進地の事例なども積極的に収集し、効果的な研修を実施していく必要がある。</p>
--------	---

## 6 就学環境の向上による学校教育の推進

主 な 取 組	<p>(1) 要・準要保護児童生徒就学援助事業（23,259千円） 経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒352人の保護者に対し、就学に係る費用の一部を援助した。</p> <p>(2) 特別支援教育就学奨励費補助金（685千円） 特別支援学級に就学する児童生徒18人の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育に資する費用の一部を助成した。</p> <p>(3) 幼児教育補助金（20,297千円） 保護者の負担軽減のため、所得に応じて幼稚園就園奨励金を177人に交付した。 幼児教育振興のため、市内私立幼稚園2園（木津幼稚園、うのけ幼稚園）に対し、運営補助金を交付した。</p> <p>(4) 育英奨学補助金（1,275千円） 経済的理由により就学が困難な高校生13人に対し、奨学資金（8,000円/月）を支給した。 なお、公立高等学校授業料無償化を受け、当該補助金の存続についての協議を行った結果、制度の目的である有用な人材を育成することや原資となる基金の状況を鑑み、支給に係る学業成績要件を3.0以上から3.5以上に見直したうえで実施した。</p> <p>(5) 学校施設等整備事業 高松小学校整備事業（939千円） ・ 老朽化に伴い職員室電話機の更新及び増設を行った。 ・ 校舎バルコニーのクラック補修を行った。 大海小学校整備事業（16,992千円） ・ 老朽化したプール附属棟（屋外更衣室）の建て替え工事を施工した。 七塚小学校整備事業（7,232千円） ・ 児童用手洗いコーナーの改修工事を施工した。 ・ 特別教室棟の庇が老朽化により剥落していたため、修繕工事を施工した。 ・ 電気室改修工事を施工した。 外日角小学校整備事業（1,544千円） ・ 高圧受電設備老朽化に伴い改修工事を施工した。 宇ノ気小学校整備事業（11,158千円） ・ 衛生面を考慮し、プール給水を井戸水から上水道に切り替えを行った。 ・ 女子トイレ混雑解消のため、便器の増設を行った。 ・ プール塗装が老朽化により剥離していたため、塗装改修工事を施工した。 金津小学校整備事業（2,399千円） ・ 特別支援教育の充実のため、特別支援教室の増設を行った。 高松中学校整備事業（61,000千円） ・ グラウンドの排水不良等解消のため、グラウンド整備工事を施工した。 河北台中学校整備事業（683千円） ・ グラウンド周辺への飛砂対策のため、防風ネット設置工事を施工した。 ・ 屋外放送設備の改修工事を施工した。 宇ノ気中学校整備事業（1,544千円） ・ 特別支援教育の充実のため、特別支援教室の増設を行った。 第2学校給食センター ・ 衛生基準に準拠するため、自動手洗い器の更新を行った。 ・ 害虫等の進入防止のため、検収室前食材工事を施工した。</p>
------------------	--

主 な 取 組	<p>(6) スクールバス運行事業(15,671千円)          スクールバス4台を運行し、宇ノ気小学校、金津小学校、大海小学校の遠方児童を送迎した。校外活動などの学校行事、各種大会などへの児童生徒の送迎にスクールバスを活用した。老朽化が進んだ「しろちどり号」(29人乗り)を更新した。</p> <p>(7) 生徒通学用安全着補助事業(372千円)          通学時の安全を向上させるため、自転車通学を行う中学校生徒148人に対し、ヘルメットなどの購入費用の一部を補助した。</p> <p>(8) 安全・安心のための取組          各小中学校において、登下校に関する児童生徒の安全確保のため、地域住民やPTAの協力による学校安全ボランティアなどの活動により登下校時の安全を確保した。          「いいメールかほく」内の学校情報メールを活用し、必要な学校情報を随時発信し、迅速な情報提供を行った。</p>
------------------	---

評 価	<p>経済的理由で就学が困難な児童生徒に対して必要な援助を行うことにより円滑な義務教育の実施を図ることができた。特別支援教育に係る補助も含めて安定した就学の保障を行うことは、教育の機会均等の精神に基づくものであることから、今後も継続して実施していく必要がある。</p> <p>幼児教育補助金交付の実施により幼児教育の普及充実を図ることができた。保護者のニーズに応じて保育園・幼稚園の選択ができる環境を今後も維持していくためにも必要となる。</p> <p>平成22年度から公立高等学校の授業料無償化が始まったが、市内には高等学校がないことから、必ず必要となる通学費に加え、学用品費等の負担もあることを考慮し、育英奨学補助金制度を継続したことによって有用な人材の高等学校などへの就学を支援することができた。また、受給者は受給の要件である学業成績の維持にも努めることとなり、修学の向上が図られた。</p> <p>市内の学校施設の耐震化率は、平成21年度に100%を達成したが、施設の老朽化も進んでいることから、安全・安心な学校施設環境の整備として、大海小学校プール附属棟建て替え工事や高松中学校グラウンド整備工事などを施工することによって教育環境整備の向上が図られた。また、七塚小学校の児童用手洗いコーナー改修工事や宇ノ気小学校プール給水切り替えなどによって児童生徒の衛生面での環境を向上することができた。そのほか、学校給食センターを含めた学校施設において、必要となる改修や整備についても随時実施し、安全・安心な就学環境を維持することができた。</p> <p>スクールバスの運行によって遠方から通学する児童の利便性が確保されているが、遠方の新興住宅地から徒歩通学している児童もいることから、現状の運行区域の見直しを行っていく必要がある。</p> <p>地域住民による見守りを実施したことによって児童生徒の登下校時の安全・安心が図られた。ただし、不審者や児童生徒を巻き込む事件はいつ発生してもおかしくない状況であることから、普段から緊張感を持って見守りを実施する必要がある。また、「いいメールかほく」を活用して多くの学校情報を提供しており、今後も積極的に情報発信を行っていく必要がある。</p>
--------	---

**施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう  
生涯学習社会を目指して**

**【生涯学習課】**

**1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進**

主な 取組	<p>(1) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部） 「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p> <p>(2) 親子ふれあい事業（生涯学習推進事業・文化財保護事業の一部） 親子歴史体験教室を開催した。 親子天体望遠鏡づくり教室を開催した。</p>
----------	---

評価	<p>各種親子体験教室、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の展開など、親子で参加する事業や生活習慣の改善に関する取組を実施し、親子のコミュニケーションや絆を深め、「子どもの社会性を育む学びの場としての家庭」、「子どもの心の居場所としての家庭」の機能を高める事業を進めた。</p> <p>特に親子ふれあい事業の参加者（保護者）の声を聴く限り、当該事業が親子のコミュニケーションと絆を深める良い機会となったものと考えており、深い絆をもった親子関係の促進は、家庭の教育力の向上につながるものと考えている。</p> <p>今後も家族のコミュニケーションの促進を図り、絆を強める取組として親子ふれあい事業を継続し、展開していきたいと考えている。</p> <p>また、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の推進にあたっては、各種団体や学校・地域との一体的連携による運動を進めていくことが、より大切であると考えている。</p>
----	---

## 2 地域教育力の向上に向けたコミュニティ活動の活性化

主な取組	<p>(1) 公民館管理運営事業 (26,747 千円)</p> <p>市内各地域 (七塚・宇ノ気地域) の公民館活動を推進するため、運営費補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり推進事業補助金 (16 件)</li> </ul> <p>各中学校区単位で、社会教育的あるいは生涯学習的の事業を展開し、地域の連帯の強化や地域力の向上を図った。</p> <p><b>【高松地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども絵画教室 (小学生対象) 7 回</li> <li>・ グラスアート教室 (一般対象) 2 回</li> <li>・ お達者くらぶ (高齢者対象) 3 回</li> </ul> <p><b>【七塚地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七塚地区市民交流グラウンド・ゴルフ大会の開催</li> <li>・ 子どもかるた教室 (小学生対象) 10 回</li> <li>・ 夏休みお楽しみ教室 (小学生対象) 3 回</li> <li>・ ふれあい大学 (高齢者対象) 3 回</li> </ul> <p><b>【宇ノ気地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇ノ気中学校区市民交流大会(ビーチボールバレー競技)の開催</li> <li>・ 子ども煎茶教室 (小学生対象) 11 回</li> <li>・ 夏休み教室 (小学生対象) 3 回</li> <li>・ いきいき講座 (一般対象) 3 回</li> </ul> <p>放課後子ども教室推進事業として、学校・地域・家庭との連携により土曜日 (月 1 回) に子どもたちの異学年交流を図りながら体験活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校単位で 6 教室開催</li> <li>・ 登録者数(6 教室計): 120 人 年実施回数(6 教室計): 50 回</li> </ul> <p>地域の公民館の良好な環境を維持することで、地域コミュニティ形成の場としての機能を確保した。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区公民館の耐震診断、補強計画</li> <li>・ 地区公民館の修繕 <ul style="list-style-type: none"> <li>七塚公民館トイレ改修</li> <li>よこやま研修館外壁改修</li> <li>鉢伏区民センター改修</li> <li>大崎公民館シャッター修繕</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 地域ぐるみの学校支援推進事業 (2,880 千円)</p> <p>地域全体で学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもの教育を推進し、地域の教育力向上などを図る取組として、文部科学省の委託事業を受け、学校支援活動についての組織・体制を整備し、ボランティア活動を展開した。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かほく市全体の方針・取組を協議する「かほく市地域教育力活性化実行委員会」の開催</li> <li>・ 各中学校の校下単位に「高松・七塚・宇ノ気地域教育力活性化本部」を設置</li> <li>・ 各地域の活性化本部に地域コーディネーターを配置し、現状の学校支援ボランティアの人材把握、整理を行い、学校からの支援希望に応じて、ボランティア活動を実施</li> </ul> <p>(3) 各種団体補助負担金 (7,289 千円)</p> <p>市内 11 の団体組織に社会教育的活動を支援するため補助金を交付した。</p> <p>(主な交付団体) 女性協議会、各種女性団体連絡協議会、子ども会連絡協議会、文化協会、PTA 連合会、国際交流協会</p>
------	--

地区公民館は、地域の自治公民館として地域が主体となって、地域づくり、青少年の健全育成など地域住民を対象とした活動を行った。また、老朽化した施設が多く、限られた予算の中、耐震診断、補強計画、施設・設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。

今後も各施設の老朽化に伴う修繕が予想され、区・町会の自治会と公民館の位置付けや在り方などについて引き続き協議・検討が必要である。

放課後子ども教室推進事業については、異学年児童の参加増を目指し、新たな取組形態として毎月1回土曜日の開催としたが、参加登録数は平成21年度の224人から平成22年度は120人と減少し、低学年に偏った参加となった。児童の平日の放課後や週末は、スポーツ少年団や学習塾、あるいは各種習い事で多忙なこと、また、NPO法人による放課後や週末事業の増加により児童の参加の選択肢が増えたことなどを踏まえ、当該事業については、平成22年度をもって終了することとした。

学校教育を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々をボランティアとして派遣することができた。本事業の学校支援ボランティアの存在が、コーディネーターの活動、広報誌やボランティアだよりの配付、ホームページ掲載などの啓発活動によって市民の間で少しずつではあるが、注目され、関心を持たれるようになってきた。今後は今まで以上に市民に対し取組や活動を周知し、各種団体等の参加を得て、地域住民の連帯と融和、教育力の向上につなげていきたいと考えている。

また、地域の大人と子どもの交流を図る地域支援型事業である地域ぐるみの学校支援推進事業を引き続き推進することで、大人の子どもたちへの関心を深め、地域や家庭の教育力を向上させていく必要がある。

### 3 豊かな心を育むための青少年教育の推進

主な取組	<p>(1) 成人式・立志式開催費（928 千円）</p> <p>成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人の日を記念して新成人者が社会の一員となったことを自覚し、人として有意義な人生を歩んでいく決意を持って実社会へ門出ができるように祝い励ますことを目的に成人式を開催した。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">期 日 平成23年1月9日（日）</p> <p style="margin-left: 40px;">場 所 河北台中学校講堂</p> <p style="margin-left: 40px;">対象者 408人（うち参加者 313人）</p> <p>立志式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、目的意識をもった生き方を考える機会として、立志式及び記念講演会を開催した。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">期 日 平成23年2月1日（火）</p> <p style="margin-left: 40px;">場 所 河北台中学校講堂</p> <p style="margin-left: 40px;">対象者 374人（市内3中学校の2年生）</p> <p style="margin-left: 40px;">内 容 各学校生徒代表による意見発表</p> <p style="margin-left: 40px;">講演会 講師 山口 義雄 氏</p> <p style="margin-left: 80px;">演題「夢に向かって～東京スカイツリーから～」</p> <p>(2) 少年愛護センター事業（1,781 千円）</p> <p>少年愛護センター運営委員会を開催し、少年愛護員が街頭補導活動や有害環境浄化活動などを行い、青少年健全育成に努めた。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巡回補導 少年愛護指導員（月～金 15:00～17:00） 少年愛護員（年間16回×3箇所 19:30～21:00）</li> <li>・ 運営委員会の開催</li> <li>・ 少年愛護センター会議の開催</li> <li>・ 少年愛護センター会報誌「ふれ愛」作成</li> <li>・ 少年愛護看板作成</li> </ul> <p>(3) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部）</p> <p>「交通安全・あいさつ運動」を展開した。</p>
------	--

評価	<p>成人式・立志式は、次代のかほく市を担う青少年を祝福し、自覚を持ってもらう大切な事業であり、この式への参加を通じてかほく市に愛着を持ち、市や地域コミュニティづくりの核になることを願って式を開催している。</p> <p>成人式については、石川県立看護大学の市外出身（住民登録はかほく市）の学生が出身地の成人式に出席することもあり、高松地区では対象者の64.3%の参加率となっているが、市内全体の参加率は76.7%となっており、今後も高い参加率維持に努めていきたいと考えている。</p> <p>少年愛護センター事業では、青少年の非行が全国的に増加傾向にある中、かほく市では減少となっている。このことは、少年愛護指導員、少年愛護員などの地道な取組の成果であると考えている。今後も巡回コースの追加、巡回補導回数の増、夏場・冬場の巡回補導時間の検討など、警察との連携を取りながら、青少年非行の防止と健全育成に取り組みたいと考えている。</p> <p>豊かな人間性を培う心の教育を推進するため、「交通安全・あいさつ運動」を実施している。しかし、青少年を取り巻く環境は依然として憂慮すべきものがあることから、引き続き多くの市民が参加できる取組を通じて市民意識の高揚を図ることが必要であると考えている。</p>
----	---

#### 4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 男女共同参画社会推進事業（279千円）</p> <p>市民向けの啓発活動を行うことにより男女共同参画社会に対する意識を形成し、理解を促進した。</p> <p>（事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌に男女共同参画特集コーナー「みんなが輝き支え合うまち」特集記事を掲載</li> <li>・ 外国人によるパネルディスカッション開催【石川中央広域圏協議会連携事業】</li> <li>・ 男女共同参画啓発映画会の開催（人権擁護委員会共催） <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日：平成23年2月27日（日）</li> <li>タイトル：「春との旅」主演：仲代達也</li> <li>内 容：ある老人とその孫娘の物語。家族、親戚縁者たちとの人間関係を描く。</li> </ul> </li> </ul> <p>市内の働く女性の福祉増進を図るため、かほく市高松女性センターが初級者を対象としたパソコン講座を4回開催した。</p>
------------------	---

評 価	<p>男女共同参画社会基本法第9条及び第16条の規定により義務付けられている男女共同参画社会の形成の促進に関し男女共同参画社会の実現を目指すため、教育委員会として市民の意識啓発に向けた講座、映写会、広報活動に取り組んでいる。今後も参加しやすい環境づくりを行い、市民の意識啓発の向上に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>かほく市男女共同参画推進条例に基づく審議会が未開催であったため、同行動計画による年次計画や事業報告に対する協議がなされず、十分な事業に対する審議や評価を欠く結果となった。次年度において、再度、行動計画に基づく事業への取組促進を図る必要がある。</p> <p>女性センター運営事業として、女性の地位向上と積極的な社会参加の促進に資することを目的に、女性を対象とした講座を実施した。今後もニーズに応える講座を開催していきたいと考えている。</p>
--------	--

## 5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進

主な取組	<p>(1) 国際交流事業（10,447千円）</p> <p>ドイツのメスキルヒ市との相互訪問などにより異文化に対する理解を深めるほか、国際交流員を配置し、市国際交流協会との連携による国際理解教室及び語学教室などを開催することにより市民の国際感覚の育成を推進した。</p> <p>（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姉妹都市交流事業（青少年派遣） <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問団員：19人（中学生15人、引率者4人）</li> <li>派遣期間：平成22年9月27日（月）～10月7日（木）</li> <li>事前研修：平成22年7月6日（火）～9月22日（水）の間、5回実施</li> <li>事後研修：平成22年11月10日（水）</li> <li>事業経費：4,150千円</li> </ul> </li> <li>・ 国際交流員の配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>C I R（国際交流員）1人を配置し、園児から成人を対象に異文化理解教育を推進した。</li> <li>任期満了に伴う国際交流員の交代 <ul style="list-style-type: none"> <li>前任：メラニー シュルツ（平成17年8月から平成22年7月までの5年間）</li> <li>後任：カティア シュナイダー（平成22年8月から）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
------	---

評価	<p>当該事業は、平成16年7月に姉妹都市提携の再調印を行った際、隔年で青少年の相互訪問を行うと位置づけされており、平成22年度は、青少年の派遣を実施した。</p> <p>メスキルヒ市の同年代の子ども達との交流を通じて両市の相互理解と交流を促進し、併せてかほく市の中学生の国際的視野を広げ、国際協力の精神を養い、これからのかほく市を担うにふさわしい青少年リーダーを育成することができた。</p> <p>今後、姉妹都市交流事業を企画・実施するにあたり、今まで以上に市民や市民団体の積極的な参加を得ることを目指し、市民の国際理解を深める方策について、かほく市国際交流協会と連携しながら模索していく必要があると考えている。</p>
----	--

## 6 生きがいにづくりに向けた文化活動の推進

主な取組	<p>(1) 生涯学習推進事業（3,477 千円）</p> <p>市民の学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催するとともに、職員出前講座のほか市民向けの講座等を実施した。</p> <p>また、かほく市内の文化活動団体紹介チラシを全戸配付した。</p> <p>第7回生涯学習フェスティバル</p> <p>期 間 平成22年10月30日（土）～31日（日）</p> <p>会 場 河北台中学校講堂、河北台健民体育館など</p> <p>内 容 芸能発表会、各種展示会、フリーマーケット、図書館まつり</p> <p>記念講演 講師：乙武洋匡氏 演題：みんなちがってみんないい</p> <p>併せて市健康まつり（健康福祉課主管）を開催した。</p> <p>クリスマスコンサートの開催 開催日：平成22年12月23日（木）</p> <p>出前講座（講師は市職員） 開催回数：29回</p> <p>天体観望会の開催 開催回数：16回（1・2月を除く毎月第2・第4土曜） （荒天等による中止あり）</p> <p>(2) 女性センター管理運営事業（106 千円）</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(3) 生涯学習センター管理運営事業（9,423 千円）</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(4) 勤労青少年ホーム維持管理事業（9,344 千円）</p> <p>施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p>
------	--

評価	<p>様々な学習意欲を持つ市民に対し、文化活動団体に関する情報を提供した。また、学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催したほか、市民向け講座や職員出前講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。今回の生涯学習フェスティバルでは、女性会によるスライドファッションショー、木津区の獅子舞を披露した。今後も新たな内容を取り入れながら、展示会場のレイアウト、展示内容についても改善を加え、より多くの市民に来場していただけるよう検討していきたい。</p> <p>市民に対して良好な生涯学習の場を提供するため、高松女性センター、七塚生涯学習センター、七塚勤労青少年ホーム、宇ノ気勤労青少年ホームの適切な維持管理を行った。引き続き、市民の学習意欲の向上と学習成果を地域で活用できるよう支援を進めたいと考えている。</p>
----	--

## 7 子どもの豊かな心を育むための読書活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 図書館管理運営事業（54,101千円）</p> <p>毎月の広報誌、ケーブルテレビ・ホームページなどで「おすすめ本」や図書館新刊受入れ情報を発信し、広く市民に知らせることにより読書を通しての生涯学習の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人登録延べ利用者数 47,765人</li> <li>・ 個人貸出冊数 209,868冊</li> </ul> <p>(図書資料など購入数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書購入 6,507冊</li> <li>・ 視聴覚資料購入 81点</li> </ul> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館まつりの開催（生涯学習フェスティバルと共催）</li> <li>・ 各種お話し会 47回</li> <li>・ ブックスタート 22回</li> <li>・ 図書館講演会 1回</li> </ul> <p>現在の図書館3館では、十分な図書館サービスが展開できないことから、既存施設の有効活用を図ることを基本とし、七塚図書館を増築し、サービスの向上を図ることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称)かほく市立中央図書館建築設計・耐震補強設計を実施</li> </ul>
------------------	--

評 価	<p>市立図書館では、平成22年度は高松図書館にてビジネス支援コーナーをかほく市商工会主催講演会に合わせて設け、地域の商工業者が図書館に足を運び尚且つ図書館資料について認識していただくよう、図書館の利用について幅を広げる取組を行った。また、図書館利用者に対し毎月の広報やケーブルテレビ・ホームページで新刊受入れ情報を発信し、個々の利用ニーズの情報を得ることに努め、時代に合った、求められる資料を適切に収集している。</p> <p>今日求められる公共図書館は、小さい子どもを持つ母親からは、ゆったりとした空間で他の利用者に気兼ねすることなく親子で一緒に本が読めるスペースが、一般の利用者からは、幅広い図書資料を揃えてレファレンス機能が充実した快適な空間での読書や学習スペースが必要とされる。多様化する市民ニーズに対応し、読書活動の推進や読書を通じた教育・学習の環境充実を図るための社会教育施設として、平成24年度の(仮称)かほく市立中央図書館開館に向け、資料収集や図書館施設整備に努めていく。</p>
--------	---

## 8 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

主な取組	<p>(1) 西田記念哲学館管理運営事業（62,399千円）</p> <p>石川県西田幾多郎記念哲学館、旧西田記念館及び西田幾多郎書斎「骨清窟」の適切な維持管理を行い、主に石川県西田幾多郎記念哲学館を拠点として、哲学者西田幾多郎の遺徳を顕彰し、西田幾多郎に関する資料の展示並びに哲学に関する企画展、講演会及び講座を開催することにより哲学を通じての生涯学習の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 哲学館入館者数 21,660人(うち展示室観覧者数5,152人)</li> <li>・ その他哲学館外事業(出前講座その他)1,543人</li> </ul> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 哲学館運営委員会の開催 2回</li> <li>・ 西田幾多郎哲学講座 全12回+野外学習1回</li> <li>・ 寸心読書会 全12回</li> <li>・ 入門講座「ゆっくり読む『善の研究』」 全6回</li> <li>・ 入門講座「はじめての西洋哲学」 全2回</li> <li>・ 特別企画「生命(いのち)について考える」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会 全4回</li> <li>映画上映会 4回(1日に4回上映)</li> </ul> </li> <li>・ 禅文化体験会 1回</li> <li>・ 映画「ガイアシンフォニー 第五番」上映会 4回(1日に4回上映)</li> <li>・ 市川篤展-through the glass-(期間中2回ギャラリートーク開催)</li> <li>・ 市内小中学校「共通道徳」実施 小学校6校(5年生) 中学校3校(2年生)</li> <li>・ 哲学カフェ 全23回</li> <li>・ 機関誌「哲学館ニュース」第12号、第13号発刊</li> <li>・ 雑誌『点から線へ』第57号、第58号発刊</li> <li>・ 哲学館ギャラリー(ホワイエ・展望ラウンジ)貸出開始 ホワイエ50日、展望ラウンジ3日使用(主催・貸館含)</li> <li>・ 情報ライブラリーブース整備事業 「善の研究」音声データCD作成 展示室情報ライブラリーブース整備</li> <li>・ 哲学館外部改修工事(平成22年~平成23年度にわたって実施)</li> <li>・ 西田幾多郎書斎「骨清窟」修復移築事業(平成21年~平成22年度にわたって実施)</li> </ul>
	<p>(2) 総合交流促進施設運営事業（14,635千円）</p> <p>施設の適切な維持管理を行い、市民などに対し漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えてキャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供することにより人々の交流活動を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博物館展示室観覧者数 8,995人(うち市民ギャラリー入場者数5,657人)</li> <li>・ キャンプ場利用者数 3,612人</li> <li>・ バーベキュー場利用者数 5,060人</li> <li>・ 「市民ギャラリーうみっこ」の開催 28回</li> </ul> <p>(主な展示会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市絵画愛好会グループ展</li> <li>・ 市書道協会展</li> <li>・ 押花アート合同展</li> <li>・ 水墨画サークル展</li> <li>・ MOA美術館児童作品展</li> <li>・ 市写真協会写真展</li> <li>・ 市生け花協会展</li> <li>・ グラスアート展</li> <li>・ 春の山野草展</li> <li>・ 私の作品展</li> </ul>

(3) 文化財保護事業 (2,672 千円)

文化財の保存・公開等を通じて市民に対し文化財保護を周知し、地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るため、市指定文化財の保護・管理を実施した。

(主な事業)

- ・ 文化財保護審議会の開催 3 回
- ・ 親子歴史体験教室の開催 (再掲) 1 回
- ・ 小学生対象土器作り教室の開催 4 校
- ・ ふるさと学習講演会の開催 1 回
- ・ 市指定文化財 (天然記念物) の樹木診断 1 回
- ・ 上山田貝塚、大海西山弥生の里等の管理 (芝生管理、樹木管理)
- ・ 文化財関係看板の修繕

(4) 埋蔵文化財調査事業 (38 千円)

開発行為等の計画・実施に際して、埋蔵文化財の取扱いに関する事前協議を進め、必要に応じて試掘調査を実施した。

(主な事業)

- ・ 事前協議 6 7 件
- ・ 重機を使用した試掘調査 1 件

西田幾多郎記念哲学館では、入門者・初心者向けの「入門講座」、中級者・上級者向けの「西田幾多郎哲学講座」、じっくりと哲学書を読み進める「寸心読書会」を開催している。それぞれの講座でターゲットとなる利用者層を変えることを心がけて企画している。また、講座終了後に喫茶室で講師を囲んで哲学について討議する「哲学カフェ」を行い、講座参加者と講座講師が気軽に討論できる場として好評の声をいただいている。また、「特別企画」は、哲学に興味がある人はもちろん、哲学に興味がない人たちをも哲学館に呼び込むことを目的として実施し、平成22年度は、生命(いのち)をテーマとした。教育・畜産、医療、哲学といった幅広い分野から講師を招き、多様な講演会を開催した。

平成21年度から実施している「市内小中学校『共通通徳』」事業を平成22年度も継続して実施した。市内小学校6校(5年生)、中学校3校(2年生)が哲学館を訪問し、西田幾多郎に関する講義を受け館内見学を行った。この事業により市内の特定の学年の全児童が哲学館を訪問することになり、地域の偉人に対する意識を高めることにつながった。

情報ライブラリーブース整備を行った。西田幾多郎の著書である『善の研究』をアナウンサーに朗読してもらい、その音声データを収録したCDを作成した。また、展示室へタブレット型端末を導入した。従来からの哲学体験に加えて、ビデオ閲覧や書籍閲覧の機能をもった展示にすることで、展示内容を充実させることができた。

平成21年度からの繰越事業であった西田幾多郎書斎「骨清窟」修復移築事業(旧西田記念館敷地から哲学館敷地へ移築)が完了した。これにより「骨清窟」を多くの方に見学していただけるようになった。

情報ライブラリーブース整備、「骨清窟」移築と、哲学館の展示機能が充実したことを軸に、今後入館者の増加につながるよう事業展開・PR活動を行っていきたいと考えている。

総合交流促進施設(うみっころんど七塚)では、市民などの施設利用者に対し漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えて、キャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供し、人々の交流活動を促進できた。今後も多くの方に利用していただけるよう、ラジオ、テレビなどを活用し、PR活動の強化を図りたいと考えている。

歴史や文化を反映した文化財の管理や活用に取り組むことができた。児童生徒の学習教材としての史跡活用を勧め、地域の歴史に触れる憩いの場としての機能を保ち、引き続き市民が地域の歴史や文化に対して愛着や誇りが持てるよう文化財の管理・公開・活用に努めていく必要があると考えている。併せて各種収蔵文化財の保管形態の整理を行う必要がある。

開発行為などに伴う埋蔵文化財の取扱いについては、今後とも引き続き関係機関との連絡調整を密にしながら円滑な事前協議に努め、必要に応じて適切な記録保存を行っていく必要があると考えている。

**施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取り組み、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して**

【生涯学習課】

1 生涯スポーツ活動の推進

主な取組

- (1) 体育指導委員の各種研修会の参加事業（182千円）  
 市民に対し、スポーツの実技指導助言を図るとともに、各種研修会に参加し体育指導委員としての資質向上に努めた。
- ・ 全国体育指導委員研究協議会に参加した。（岐阜市） 5人参加  
 期 日 平成22年11月25日（木）・26日（金）
  - ・ 北陸地区兼石川県体育指導委員研修会に参加した。（小松市）9人参加  
 期 日 平成22年6月26日（土）・27日（日）
  - ・ 河北都市体育指導委員実技研修会に参加した。（津幡町）  
 期 日 平成22年7月24日（土） 7人参加  
 平成23年1月29日（土） 6人参加
- (2) ふれあいウォークの開催（2千円）  
 期 日 平成22年4月18日（日）  
 コー ス 金津ソフトボール場～横山駅～藤が丘公園～金津ソフトボール場  
 参加人数 120人
- (3) スポレクサーキット大会の開催（180千円）  
 開催回数 年3回（第3戦は、悪天候のため中止とした。）  
 （第1戦：室内ペタンク、第2戦：ビーチボールバレー、第3戦：フレッシュパドミントン）  
 チーム数 一般男子11チーム、一般女子9チーム、少年少女7チーム
- (4) 生涯スポーツ振興事業の開催（1,300千円）  
 高齢者の体力・健康増進を図った。
- ・ 週1回の定期活動
  - ・ 第43回石川県健康クラブ普及育成研修会に参加した。（金沢市） 21人参加  
 期 日 平成22年6月16日（水）
  - ・ 第43回石川県健康クラブ交歓大会に参加した。（金沢市）211人参加  
 期 日 平成22年10月5日（火）
  - ・ 第17回能登地区健康クラブ普及育成研修会に参加した。（内灘町） 13人参加  
 期 日 平成22年10月21日（木）
- (5) 市民1000日健康・体力づくり運動（655千円）  
 市民健康づくり推進事業の展開として、平成22年度から市民一人一人が日常生活の中に、自分に合った軽運動を取り入れ、目安として、1日30分以上週2回以上継続する習慣を身につけ、健康維持・増進、体力づくりを図った。
- ・ 1000日達成者 298人
  - ・ 2000日達成者 123人
  - ・ 3000日達成者 22人
- 運動実践記録カード（1枚 1000日分）に運動日を記入提出後、市共通賞品券1枚（千円分）を進呈している。（ただし、3000日達成分までとする。運動はそれ以降も継続していただく。）

主な取組	<p>(6) 総合型地域スポーツクラブ(クラブパル)活動自立支援助成(8,990千円)          スポーツ振興くじ助成及び寄附金          かほく市におけるスポーツの普及・振興のために様々な教室運営や事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キッズコース5、ジュニアコース9、アスリートコース4、エンジョイコース14、スタジオ教室15、ほかに文化教室、セミナーを開催した。</li> </ul>
------	---

評価	<p>各種研修会の参加により体育指導委員としての資質向上に努めた。市民のスポーツ活動を支援するため、継続的な研修参加が必要である。</p> <p>レクリエーションスポーツを通じた市民のスポーツ参加へのきっかけづくりのほか、スポーツ団体その他の団体の行事などの運営に積極的に参画し、市スポーツ振興に寄与した。</p> <p>高齢者健康クラブでは、毎週木曜日に七塚(75人)、金曜日に高松(65人)、宇ノ気(80人)健康クラブが定期活動(練習)、交歓大会などを通して交流を図った。また、自己の体力度チェックとしてメディカルチェックに参加し、一人一人の体力・健康保持に努めた。</p> <p>市民100日健康・体力づくり運動は、普段運動をされていない方であっても、自主的に日常生活内に運動を取り入れてもらうきっかけづくりとなり、参加者の健康づくりに効果があった。このような市民の豊かなスポーツライフの創造に資する事業については、更なる周知を行い、普及を図っていきたい。</p> <p>河北台中学校区におけるスポーツ・文化活動の振興を通して子どもたちの健全育成及び地域コミュニティの拡大を図っており、生涯スポーツ、健康づくり及び生涯学習の発展に寄与した。</p>
----	---

## 2 児童生徒の体力・運動能力の向上

主な取組	<p>(1) スポーツ少年団育成事業(1,930千円)          青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員数 34団体 795人(うち中学生23人)</li> <li>・ 指導者数 172人</li> <li>・ 主な事業 市スポーツ少年団開講式(4月)          スポーツ指導者講習会(6月、11月)          市スポーツ少年団フェスティバル及び閉講式(2月)</li> </ul>
------	---

評価	<p>市内児童の約34%がスポーツ少年団の定期活動を通じて少年少女の仲間づくり、体力・技術力の向上及び青少年の健全育成が図られた。</p> <p>スポーツ少年団活動を通してジュニア期における体力・技術力の向上を図るためには、指導者として専門的な知識・技能や高いコーチング能力が求められる。そのために、スポーツ指導者講習会などを実施し、安全な活動に心がけた。</p> <p>このようにスポーツ少年団の活動は、市内児童の健康増進・青少年健全育成に効果が大きいことから、引き続き必要な支援を行っていく必要がある。</p>
----	---

### 3 競技スポーツの充実・強化

主な取組	<p>(1) 平成22年度全国大会出場選手等激励会及び報告会の開催（925千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催回数 年6回〔平成22年7月23日（金）、8月20日（金）、9月16日（木）、10月5日（火）、10月7日（木）、11月25日（木）〕</li> <li>・ 場 所 かほく市七塚健康福祉センター 1階 多目的ホール <ul style="list-style-type: none"> <li>一 般：監督、コーチ、選手 63人</li> <li>高校生：選手 35人</li> <li>中学生：選手 18人</li> <li>小学生：選手 18人</li> </ul> </li> </ul>
	<p>(2) 公認審判員（指導員）資格奨励金の実施（163千円）</p> <p>市内に居住する社会体育を実践する者又は実践しようとする者に対し各種資格取得を奨励することにより社会体育の実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公認審判員等取得者数（レクリエーション1人、陸上競技19人、トランポリン36人、オリエンテーリング1人、インディアカ1人、ソフトボール8人）</li> </ul>
	<p>(3) 競技スポーツの各種大会の開催</p> <p>市民の体力向上及び日頃の練習の成果を発揮する場として、また、スポーツに親しむきっかけづくりの場として各種大会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石川県民体育大会へ参加（体育協会） <ul style="list-style-type: none"> <li>中心会期 平成22年2月20日（土）・21日（日）、8月7日（土）・8日（日）</li> <li>主 会 場 冬季（白山市） 夏季（小松市）</li> <li>総合成績 男子：一般の部＝第9位、壮年の部＝第7位、総合の部＝第8位 女子：一般の部＝第8位、壮年の部＝第5位、総合の部＝第5位</li> </ul> <p>石川県民体育大会に向けての市総合体育大会を開催するとともに、各種競技大会へ参加した。</p> <p>市体育協会加盟団体の強化発展と相互の連携を推進した。</p> </li> <li>・ 学童招待野球大会の開催（298千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日 平成22年10月16日（土）・17日（日）</li> <li>会 場 高松野球場、宇ノ気野球場、金津ソフトボール場、七塚中央公園多目的広場</li> <li>チーム数 市内4チーム、市外12チーム</li> </ul> <p>市外からの学童野球チームを招待し、技術の向上と交流を推進した。</p> </li> <li>・ 市長杯争奪石川県ラージボール卓球大会の開催（160千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日 平成22年8月22日（日）</li> <li>会 場 河北台健民体育館</li> <li>チーム数 男子の部25チーム、女子の部16チーム</li> </ul> <p>20代から70代と幅広い年齢層で加賀、能登の地域を越えてラージボール卓球競技を実施した。</p> </li> <li>・ サンドヒルグラウンド・ゴルフ大会の開催（919千円） <ul style="list-style-type: none"> <li>期 日 平成22年8月29日（日）</li> <li>場 所 高松グラウンド・ゴルフ場</li> <li>チーム数 192チーム（960人） 団体途中棄権4チーム</li> </ul> </li> </ul>

主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かほく市制施行記念継走大会の開催（490千円）</li> <li>期 日 平成23年3月6日（日）</li> <li>コ ー ス 宇ノ気小学校～かほく市七塚庁舎 総延長 13.5km 4区間</li> <li>チ ー ム 数 一般男子33チーム 一般女子2チーム 中学男子16チーム 中学女子11チーム 市外一般男子8チーム</li> </ul> <p>市制施行を記念し、中学生から大人までが市内周回コースを4人で継走した。</p>
------------------	---

評 価	<p>全国大会出場者に対して、より一層の活躍を願い激励会を開催したことが大会での上位入賞の活躍の大きな原動力となった。</p> <p>公認審判員資格取得を奨励することで、社会体育実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与することができた。競技スポーツの技術力を向上させるためには、審判員の育成も重要となることから、今後も継続して実施する必要がある。</p> <p>各種団体との兼ね合いの関係で、種目によっては定期練習及び県体強化練習会場の十分な確保が難しくなっているが、連絡調整をしながら現状に至っている。さらに、平成23年度には、うのけ総合公園陸上競技場や河北台健民体育館の改修工事も予定されていることから、利用者へ十分な周知を行い、利用調整を行っていく必要がある。</p> <p>石川県民体育大会の正式競技41種目中、34種目にエントリーしており、上位入賞のためにも参加種目を増やすよう努めている。</p> <p>地域間の融和と活力あるまちづくり及び広く市民全体の体力づくりに寄与するとともに、青少年及び健康的な市民の育成を推進する一助となっている。</p>
--------	---

#### 4 スポーツ施設の整備・充実

主 な 取 組	<p>(1) 体育施設維持管理への主な取組</p> <p>25 体育施設（屋外 10 施設、屋内 15 施設）の維持管理・改修を行い、安心してスポーツに親しむ場を提供した。</p> <p>芝生管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うのけ総合公園芝生管理業務委託（2,888 千円） 芝生面積 <math>A = 18,000 \text{ m}^2</math> 対象施設 陸上競技場、野球場、児童館周辺</li> <li>・ 高松運動公園体育施設等芝生管理業務委託（3,339 千円） 芝生面積 <math>A = 14,200 \text{ m}^2</math> 対象施設 野球場、陸上競技場 芝生面積 <math>A = 13,400 \text{ m}^2</math> 対象施設 中央広場、ふれあい広場、芝生広場</li> <li>・ 高松グラウンド・ゴルフ場芝生管理業務委託（5,072 千円） 芝生面積 <math>A = 27,000 \text{ m}^2</math></li> </ul> <p>アクロス高松ろ過機ろ材入替え工事（3,675 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジョイ館内 2.5 m プール底引き用、2.5 m プールオーバーフロー用、幼児用プール用、ジャグジープール用、平湯用、露天風呂用、水風呂用各ろ過機ろ材の入替え及び入替え後の水質検査の実施</li> </ul> <p>アクロス高松駐車場整備工事（2,993 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクロス館側芝生面及び水田側芝生面を駐車場へと整備（残土・樹木伐採処分、路盤工、敷均、転圧、舗装工、既設照明移設工、防護ガードレール設置）</li> </ul> <p>高松グラウンド・ゴルフ場散水栓さく井工事・ポンプ設備工事（計 1,953 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さく井工事：隣接する下水処理場の既設管からの切り離し、加賀コース内にさく井等施工</li> <li>・ ポンプ設備工事：さく井等施工後、加賀コース、能登コースへ散水栓ポンプ設備を取付け</li> </ul> <p>河北台健民体育館耐震診断・補強計画業務委託（2,342 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震診断業務、補強計画業務、コンクリート強度試験、鉄骨部超音波探傷試験等</li> </ul> <p>河北台健民体育館耐震補強・大規模改修実施設計業務委託（4,515 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震補強実施設計（建築・設備）、大規模改修実施設計（建築・設備）、擁壁耐震化設計、仮設設計（土留工：自立式）</li> </ul> <p>七塚武道館柔道場畳敷設替え工事（4,757 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際ルール規定畳への敷設（既設置の撤去、鉄製床スプリング目視検査、国際ルール規定畳の敷設（試合場内：薄いイエロー、試合場外：グリーン）</li> </ul> <p>うのけ総合公園陸上競技場改修設計・土質調査・測量業務委託（970 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改修設計：全天候型舗装改修設計、走路沈下改良設計</li> <li>・ 測量業務：平板測量、縦断測量、横断測量</li> <li>・ 土質調査：スウェーデン式サンプリング試験（スウェーデン式サウンディング 5 m × 3 箇所）、現況地盤解析（圧蜜：簡易式）</li> </ul> <p>宇ノ気新化館耐震診断・補強計画業務委託（1,596 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震補強実施設計（建築・設備）、大規模改修実施設計（建築・設備）、擁壁耐震化設計、仮設設計（土留工：自立式）</li> </ul>
------------------	--

主な取組	<p>(2) 宇ノ気体育館、宇ノ気新化館管理委託業務（指定管理）(5,408千円)</p> <p>平成18年度から当施設の指定管理者として事業の運営効率化と施設の維持管理の充実に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理委託施設 宇ノ気体育館、宇ノ気新化館</li> <li>・ 指定管理者 NPO法人クラブパレット</li> </ul>											
	<p>(3) 河北台健民体育館2階トレーニングセンター運營業務委託(4,935千円)</p> <p>体育館2階トレーニングセンターの機器を活用し、多彩なメニューによる市民の健康づくりの場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営受託者 NPO法人クラブパレット</li> <li>・ 利用人数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(年間)</td> <td>13,215人</td> <td>12,888人</td> <td>トレーニングルーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6,852人</td> <td>6,826人</td> <td>スタジオ</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>		平成21年度	平成22年度	備考	(年間)	13,215人	12,888人	トレーニングルーム		6,852人	6,826人
	平成21年度	平成22年度	備考									
(年間)	13,215人	12,888人	トレーニングルーム									
	6,852人	6,826人	スタジオ									

評価	<p>芝管理業務をはじめ、各種工事・修繕により施設維持管理を実施した。今後も、必要な維持管理を行うことにより良好なスポーツ環境を維持していきたい。</p>
	<p>平成22年度においては、「地域活性化・きめ細やかな交付金」の活用によりアクロス高松駐車場整備工事、高松グラウンド・ゴルフ場さく井・ポンプ設備工事、七塚武道館柔道畳敷設工事等、施設環境の整備に努めることができた。また、「社会資本整備総合交付金」の活用により河北台健民体育館耐震診断・補強計画業務、耐震補強・大規模改修設計業務、宇ノ気新化館耐震診断・補強計画業務を実施し、平成23年度以降に実施する耐震・補強工事に備えることができ、安全・安心な施設整備・維持管理に努めることができた。</p>
	<p>25体育施設中、23施設を指定管理者制度にて管理しており、施設の運営・修繕等により、安全・安心な施設の維持管理を行った。また、指定管理者によるイベント、スポーツ教室、セミナーなどの展開・開催により、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに参加できる環境づくりを行った。</p> <p>河北台健民体育館2階トレーニングセンターの運営をNPO法人クラブパレットへ業務委託し、有酸素機器及びトレーニング機器を活用し、市民の健康増進を推進した。利用者数、スタジオ利用者はほぼ前年度並ではあるものの、トレーニングルーム利用者は一般から65歳以上の高齢者まで幅広い年齢層を対象としたメニューを展開したが、利用者が前年度より約2.5%（約300人）減少となった。今後も、前年度と同じくトレーニングルーム、スタジオを一体的に活用した事業の展開を図り、市民への健康づくりに努めていく必要がある。（平成23年度は、介護予防課と連携し、介護予防事業（筋力向上トレーニング事業）修了者の受け皿となる新規事業を当トレーニングセンターにて展開予定）</p>

# 資 料

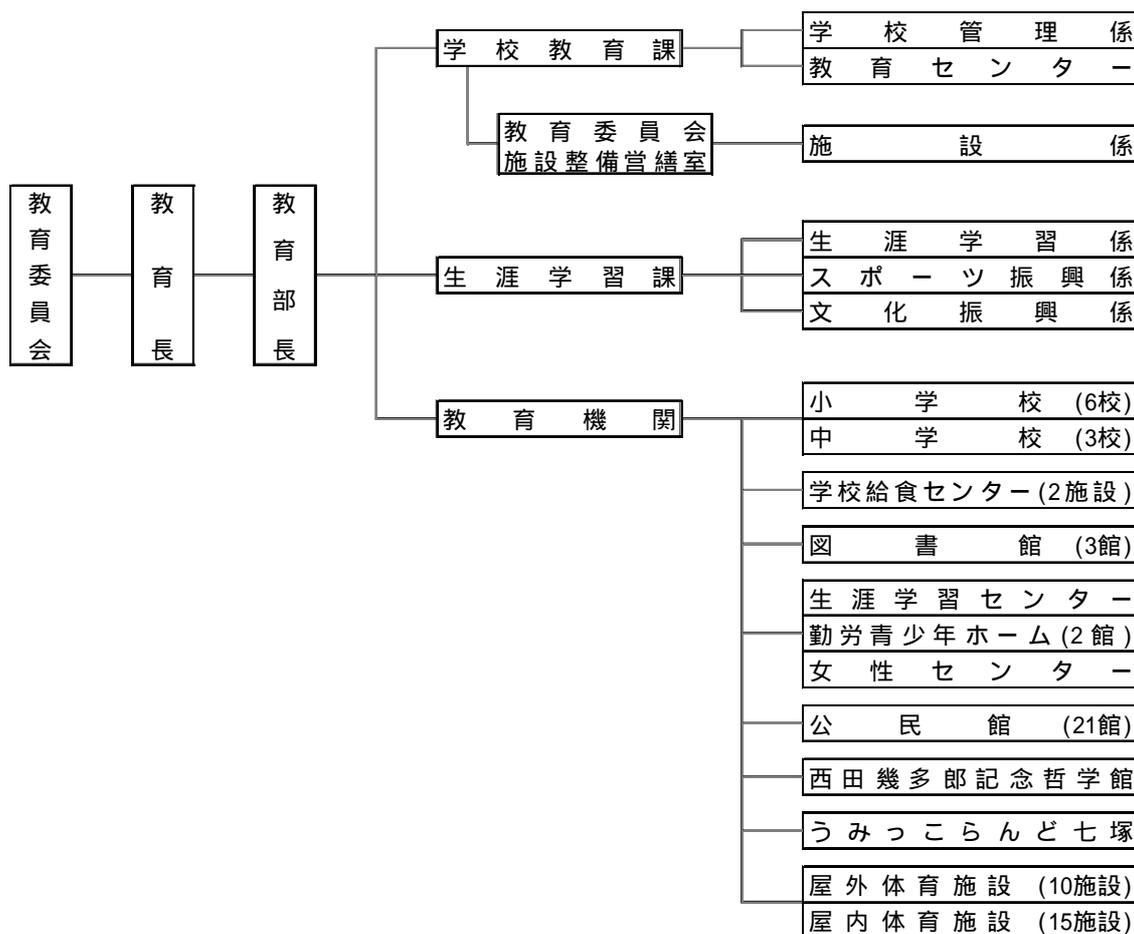
## 1 教育委員会委員

(平成23年4月28日現在)

職 名	氏 名	教育委員の任期
委 員 長	架谷 瞬華	平成22年4月28日～平成26年4月27日
委員長職務代理者	中田 節子	平成23年4月28日～平成27年4月27日
委 員	寺西 哲秀	平成20年4月28日～平成24年4月27日
委 員	松井 三枝子	平成21年4月28日～平成25年4月27日
教 育 長	遠田 敏博	平成20年4月28日～平成24年4月27日

## 2 教育委員会の組織

(平成23年4月1日現在)



### 3 教育機関

#### (1) 小学校

(平成23年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6年	427人
かほく市立大海小学校	明治 8年 1月	122人
かほく市立七塚小学校	明治 6年 7月 4日	298人
かほく市立外日角小学校	明治 8年 11月 17日	416人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8年 4月 10日	838人
かほく市立金津小学校	明治 6年 11月	100人

#### (2) 中学校

(平成23年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和22年 4月 1日	255人
かほく市立河北台中学校	昭和22年 4月 1日	433人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和22年 4月 1日	468人

#### (3) 学校給食施設

(平成23年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

#### (4) 社会教育施設

(平成23年4月1日現在)

かほく市立高松図書館	かほく市立七塚図書館	かほく市立宇ノ気図書館
かほく市七塚生涯学習センター	かほく市七塚勤労青少年ホーム	かほく市宇ノ気勤労青少年ホーム
かほく市高松女性センター	石川県西田幾多郎記念哲学館	かほく市うみっこらんど七塚
かほく市高松公民館	かほく市二ツ屋公民館	かほく市長柄町公民館
かほく市木津公民館	かほく市松浜公民館	かほく市遠塚公民館
かほく市浜北公民館	かほく市秋浜公民館	かほく市外日角公民館
かほく市白尾公民館	かほく市森公民館	かほく市指江公民館
かほく市至誠が丘公民館	かほく市気屋公民館	かほく市宇気公民館
かほく市七窪公民館	かほく市宇野気公民館	かほく市内日角公民館
かほく市大崎公民館	かほく市金津公民館	かほく市上田名公民館

(5) 社会体育施設

(平成23年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター	かほく市宇ノ気体育センター
かほく市河北台健民体育館	かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気新化館
かほく市金津体育館	かほく市七窪体育館	かほく市宇ノ気スポーツセンター
かほく市河北台体育館	かほく市宇ノ気体育館	かほく市高松陸上競技場
かほく市うのけ総合公園陸上競技場	かほく市高松野球場	かほく市宇ノ気野球場
かほく市金津ソフトボール場	かほく市高松テニスコート	かほく市七塚テニスコート
かほく市宇ノ気テニスコート	かほく市うのけ総合公園テニスコート	かほく市高松グラウンド・ゴルフ場
かほく市七塚武道館	かほく市高松弓道場	かほく市宇ノ気弓道場
かほく市アクロス高松		

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成22年度  
かほく市教育委員会点検及び評価報告書

発行年月：平成23年12月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課 TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643  
E-mail : gakkou@city.kahoku.ishikawa.jp  
(教育センター) TEL 076-283-7170 / FAX 076-283-2146  
E-mail : kyouiku@city.kahoku.ishikawa.jp  
生涯学習課 TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-2894  
E-mail : syougai@city.kahoku.ishikawa.jp  
(スポーツ関係) TEL 076-283-7138 / FAX 076-283-4242  
E-mail : taiiku@city.kahoku.ishikawa.jp

〒929-1193 石川県かほく市浜北八6番地1(かほく市七塚庁舎内)

URL : <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>